

## 行事予定

2017(平成29)年6月～8月

### 【特別展／企画展】

6月12日(月)～8月7日(月)

西南学院大学博物館春季特別展  
「九州のキリスト教シリーズV 島原半島の信仰と歴史  
— 一揆とその後の松平氏治世 —」

【場所】西南学院大学博物館1階特別展示室、2階講堂

8月28日(月)～10月27日(金)

2017年度博物館実習成果展

【場所】西南学院大学博物館1階特別展示室

5月25日(木)～9月28日(木)

西南学院大学博物館×國學院大學博物館  
相互貸借特集展示XV 「中世墓と蔵骨器」

【場所】西南学院大学博物館1階常設展示室

### 【講演会】

7月1日(土)14:00～16:00

春季特別展関連公開講演会

【講師】安高 啓明氏(熊本大学大学院准教授)

南浦 利早氏(南島原市教育委員会文化財調査員)

【場所】西南学院大学博物館2階講堂

### 【せいなんこどもワークショップ】

7月22日(土)14:00～16:00

「九州すごろくであそぼう!」

【場所】西南学院大学博物館

※要申し込み。詳細は博物館ホームページをご覧ください。

8月26日(土)14:00～16:00

「夏休み学芸員体験!～作品をつくって展示しよう～」

【場所】西南学院大学博物館

※要申し込み。詳細は博物館ホームページをご覧ください。

### 【その他】

8月18日(金)～8月26日(土)

2017年度博物館実習

【場所】西南学院大学博物館

### 【夏季休館】

8月10日(木)～8月16日(水)

その他、幅広いニーズに合わせて団体見学会等も実施しております。  
なお、予定は変更することもありますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

## 西南学院大学博物館

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号  
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室  
URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

### ●開館時間のご案内

開館時間 / 10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日 / 毎週日曜日、夏季休暇(8/10～8/16)

キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28-1/5]

入館料 / 無料

## 来館者掲示板

### 【来館者の言葉】

中学の卒業礼拝以来、数十年ぶりの訪問でしたが昔の思い出をあれこれと思い懐かしくなりました。ありがとうございました。(2017年3月)

故郷の偉人ヴォーリズとのかかわりがここ福岡にあったこと感激しています。展示も面白かったです。(2017年4月)

歴史ある素敵な建物がこのように残されていることは素晴らしいですね。故郷の天草に関する展示も興味深かったです。(2017年5月)



当館は卒業生や地域の方々をはじめ、九州では数少ないヴォーリズ建築を見学されるため、様々な人々がお来館されています。多くの方は当館の展示やレンガ造りの建物に対して好印象を持っていただいております。また、パイプオルガンの音色が当館を包み込む時もあり、「視覚」だけではなく「聴覚」でもお楽しみいただけます。

学芸調査員 中禮 尚史

### 編集後記

今号より、博物館ニュースが装いも新たに皆様にお届けすることとなりました。これからもご愛顧のほど、どうぞよろしくお願いいたします!

学芸研究員 山尾 彩香

### アクセスマップ ACCESS MAP



地下鉄	福岡空港	→	西新駅下車	約17分
	博多駅	→	西新駅下車	約12分
	天神	→	西新駅下車	約8分
バス	博多駅バスセンター	→	修猷館前	約35分
	天神	→	修猷館前	約20分
タクシー	福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ)	→	大学	約25分
	博多駅(福岡都市高速・百道ランプ)	→	大学	約20分
	天神(福岡都市高速・百道ランプ)	→	大学	約15分

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

# News

西南学院大学博物館ニュース

Volume 31 2017.6

西南学院大学

### 所蔵品紹介 特集

関谷定夫コレクション

## ハヌキヤ

Hanukkah Lamp

エルサレム(イスラエル)  
19世紀  
ブロンズ製



ハヌキヤとは、ユダヤ教のハスカ(12月の神殿奉納祭)の際に用いられる9枝の燭台のことです。初日に種火と1本目が灯され、それから1日に1枝ずつ、8日目にはすべてに火が灯されます。ハスカは別名「光の祭り」とも呼ばれており、ハヌキヤという特別な燭台を用いる由来もそこにあります。

紀元前2世紀、イスラエルの地はセレウコス朝シリアの支配下にありました。ユダヤ教は弾圧され、割礼や安息日などの戒律を守ることやトーラー(聖典)の勉強を禁じられました。また、ユダヤ教は偶像崇拜を禁じているにも関わらず、聖所であるエルサレム神殿に偶像を置かれようとしてきました。これに反発したユダヤ人たちは反乱(マカバイ戦争)を起こします。紀元前165年、ギリシア軍に勝利したユダヤ人たちは、エルサレム神殿を奪回しました。しかし、ギリシア軍に占拠されていた神殿では、燭台(メノラー)を灯す油の壺がすべて汚されていました。けれども神殿解放の日、ひとつの油壺が大祭司の封印のまま見つかります。油はわずか1日分にも満たないものでしたが、火を灯してみると8日間も燃え続けたというのです。この奇跡を記念して、ハスカ

所蔵品紹介	関谷定夫コレクション「ハヌキヤ」
聖書植物園紹介	ミルトス
博物館通信	せいなんワークショップ「聖書植物園の散策を楽しもう!」
特別展紹介	九州のキリスト教シリーズV「島原半島の信仰と歴史」

で用いられる燭台のハヌキヤは、8枝と点火用の受け皿とを合わせて9枝から構成されるようになりました。

ハヌキヤのデザインは多様化しており、本資料はケテル(冠)を頂いた十戒を、一對の獅子が守るように配されています。

学芸研究員 山尾 彩香

### 「トーラー」

ヘブライ語で「教え」を意味する、ユダヤ教で最も重要な聖典。礼拝では専門の書記によって写された羊皮紙の巻物が用いられる。トーラー専用のマントルやケース、ケテル(冠)やホーシェン(胸当て)などで裝飾され保管される。



### 「メノラー」

シナゴグ(ユダヤ教の会堂)に置かれる7枝の燭台。ユダヤ教の重要な祭具であり、象徴的図像としても用いられる。

## 聖書植物園の「ミルトス」

聖書植物園 HP <http://www.seinan-gu.ac.jp/shokubutsu/>



【聖句】「茨に代わって糸杉がおどろに代わってミルトスが生える。これは、主に対する記念となり、しるしとなる。それはとこしえに消し去られることがない。」  
(新約聖書 イザヤ書55章-13節)

今回ご紹介するのは、ミルトスという常緑樹の植物です。ギンバイカ、マートルと言ったほうが馴染みかもしれません。葉を揉むとユーカリに似た強い芳香を持ち、今日でもハーブとして流通しています。非常に生命力が高く、それゆえにユダヤ教では不死の象徴として、非常に好まれている植物です。枝は臨終の床に備え、花嫁のウェディング・リースに編み込まれるなど、ライフイベントの多くに花を添える役割を果たしています。

このほか、ミルトスは日常生活にも密接な関与をしています。ユダヤ教では、毎週おとずれる安息日から通常の日に移行する儀式のさい、ミルトスをくゆらせ、その芳香によって安息日がいかにかわいしいものだったのか想起する習慣があります。そのときに用いられる道具「スパイス・タワー」は、常設展示室内「聖書植物園の世界」コーナーにて展示



ミルトス

中です。もちろん、ミルトスも博物館入口近くにございますので、ご来館の際はぜひこちらをご覧ください。

【和名】ミルトス  
【英語名】myrtle  
【学名】Myrtus communis L.  
【所在】博物館正面玄関そば



スパイス・タワー

学芸調査員 阿部 大地

## 博物館通信

### せいなんワークショップ「聖書植物園の散策を楽しもう！」

西南学院大学博物館では、福岡市主催の福岡ミュージアムウィークの関連イベントとして、5月13日から20日の期間にワークショップを実施しました。本学のキャンパスは、約100種の聖書関連の樹木や草花が彩る聖書植物園です。今回のワークショップでは、散策マップを片手に、クイズに答えながら聖書植物園の散策をお

楽しみいただきました。

わたしたちは聖書の中でたくさんの植物に出会います。イエスのたとえ話においても、植物は重要な意味をもっています。当館常設展示室の「聖書植物の世界」コーナーでは、聖書と関わり深い植物について紹介しています。聖書植物園とあわせてお楽しみください。

学芸調査員 宮川 由衣



2017年3月から5月までに行った博物館活動や出来事の中からいくつかをご紹介します。

3月11日(土)  
せいなんおでかけワークショップ in 加津佐図書館  
「ペーパークラフトをつくろう！—ノアの方舟—」を実施しました。

3月2日(木)~7月1日(土)  
西南学院大学博物館×國學院大學博物館  
相互貸借特集展示XIV「ユダヤ信仰を彩る—トラーの装飾品—」を國學院大學博物館にて開始しました。

3月23日(木)~6月8日(木)  
南島原市×西南学院大学博物館  
相互貸借特集展示VIII「語り継がれる島原・天草一揆II—「寛永治迹」の世界—」を開始しました。

3月23日(木)~7月28日(金)  
南島原市×西南学院大学博物館  
サテライト展示「西洋から見た幕末の日本」を原城図書館にて開始しました。

5月13日(土)~5月20日(土)  
せいなんワークショップ「聖書植物園の散策を楽しもう！」  
を実施しました。

5月25日(木)~9月28日(木)  
西南学院大学博物館×國學院大學博物館  
相互貸借特集展示XV「中世墓と蔵骨器」を開始しました。

## 特別展紹介

### 2017年度 西南学院大学博物館春季特別展

九州のキリスト教シリーズV

## 島原半島の信仰と歴史

— 一揆とその後の松平氏治世 —

会期/2017年 6月12日(月)~8月7日(月)

会場/西南学院大学博物館特別展示室、2階講堂

後援/福岡県・福岡市・福岡県教育委員会  
福岡市教育委員会・福岡市文化芸術振興財団

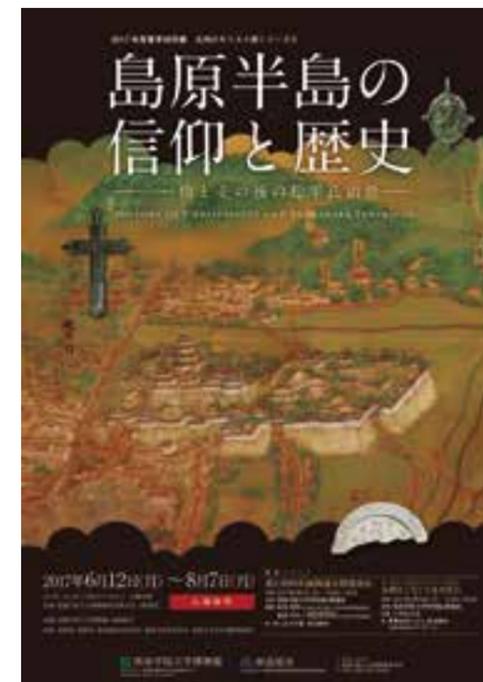
共催/西南学院大学博物館・南島原市

### 開催概要

戦国時代、島原半島を領有していた有馬氏は、南蛮貿易を行いました。そのなかでキリスト教に改宗した有馬晴信は、天正遣欧使節をローマに派遣するなど積極的に活動し、領民もキリスト教へ改宗しました。しかし、一転禁教の世になると、有馬氏後に島原に入封した松倉氏のキリスト教弾圧や苛烈な年貢の取り立てなどに対して領民が蜂起し、その後の日本の政治体制に大きな影響を与えることになる、島原・天草一揆が勃発します。

一揆鎮圧後、領民の大半がいなくなった島原半島にはさまざまな藩から移民が募られ、統治する者として高力氏、松平氏、戸田氏といった譜代大名が入封されました。藩主たちは領地の安寧に向けて政策を行いましたが、その治世には数々の苦難がありました。

本展覧会は、主として前近代の島原を取り上げ、島原藩で最も長く続いた松平氏を中心に島原半島の信仰と歴史を概観します。



### 展示構成

#### 第1部 島原半島とキリスト教

- 第1章 有馬氏の海外交流
- 第2章 島原・天草一揆の顛末

#### 第2部 島原藩深溝松平氏の治世

- 第1章 深溝松平氏について
- 第2章 島原藩の禁教政策
- 第3章 島原藩と災害—島原大変—
- 第4章 島原藩の終焉

### 関連イベント

#### 第21回特別展関連公開講演会

日時/2017年7月1日(土) 14時~16時

講師/安高 啓明氏

(熊本大学大学院人文社会科学部准教授)

南浦 利早氏

(南島原市教育委員会文化財課文化財調査員)

会場/西南学院大学博物館2階講堂

※事前申し込み不要、参加無料

#### せいなんこどもワークショップ

#### 「九州すごろくであそぼう！」

日時/2017年7月22日(土) 14時~16時

会場/西南学院大学博物館2階講堂

定員/小学生20名

参加費/無料

申込締切/7月8日(土)

#### 【ワークショップ 申し込み方法】

「参加者氏名(ふりがな)」「性別」「生年月日」「年齢」「小学校名・学年」「保護者氏名・続柄」「住所」「緊急連絡先電話番号」「メールアドレスまたはFAX番号」の必要事項を明記のうえ、メール (seinanmuseum@yahoo.co.jp)またはFAX (092-823-4786)にて、7月8日(土)までにお申し込みください。

※応募者多数の場合は抽選となります。

※個人情報、保険加入手続き、統計、博物館・ワークショップに関するご連絡以外に使用いたしません。

※ワークショップ当日に写真撮影を行います。写真は博物館ホームページ、facebook、刊行物等で公開することがあります。